

V. 教育の実施体制

1. 教員組織

(1) 教員数・構成 (2011年5月1日現在)

1) 専任教員数

学科等名	専任教員数					設置基準で定める教員数 ()内は教授数	助手	副手・補助職員・技術職員等	備考
	教授	准教授	講師	助教	計				
情報処理工学	4	3	0	0	7	7 (3)	0	0	
国際文化学科	6	4	1	0	11	5 (2)	0	0	
(小計)	10	7	1	0	18	12 (5)	0	0	
学科外所属	0	0	0	0	0		0	1	
(合計)	10	7	1	0	18	4 (2)	0	1	

* 設置基準で定める教員数 (合計) 欄には、短期大学全体の入学定員に応じて定める専任教員数 (第22条別表第1のロ) を記載している

2) 専任教員年令構成

区分	専任教員(助教以上)年令構成							助手等の		備考
	70以上	60~69	50~59	40~49	30~39	29以下	平均年齢	平均年齢		
両学科合計	0	8	5	3	2	0	54.1			
18人										

3) 専任教員名簿

職名	氏名	(子) 東海大	福岡短期大学	現職発令	
		採用年月日	発令年月日	年月日	
学長	西野 仁	78.4.1	10.4.1	11.4.1	
情報処理学科	主任・教授	矢原 充敏	93.4.1	93.4.1	11.4.1
	教授	伊津 信之介	80.4.1	94.4.1	03.4.1
	教授	斎藤 守正	74.4.1	92.4.1	11.4.1
	教授	佐竹 則昭	07.4.1	07.4.1	11.4.1
	准教授	徳永 克美	74.4.1	90.4.1	99.4.1
	准教授	宮川 幹平	03.4.1	03.4.1	11.4.1
	准教授	八尋 剛規	92.4.1	92.4.1	11.4.1
国際文化学科	教授	西野 仁	78.4.1	10.4.1	11.4.1
	主任・教授	真下 仁	90.4.1	90.4.1	11.4.1
	教授	神山 高行	93.4.1	93.4.1	11.4.1
	教授	林 鍾大	11.4.1	11.4.1	11.4.1
	教授	宮内 順	00.4.1	00.4.1	11.4.1
	教授	吉岡 メリー エレン	91.4.1	91.4.1	11.4.1
	准教授	赤井 ひさ子	92.4.1	92.4.1	00.4.1
	准教授	伊原 奉賢	93.10.1	93.10.1	11.4.1
	准教授	大方 優子	04.4.1	04.4.1	11.4.1
	准教授	チョウ アン ナ	07.4.1	07.4.1	11.4.1
	講師	北濱 幹士	04.10.1	04.10.1	05.4.1

(2) 教員の授業担当数 (2011 年度)

1) 専任教員担当授業数

所属	総コマ数 (年間)	教員一人当たりの担当持ちコマ平均 (1週間)				
		全体平均	教授	准教授	講師	助教・助手
情報処理学科	46.5	6.6	6.1	7.3		
国際文化学科	67.5	6.1	5.7	6.4	8	
計	114	6.3	5.9	6.8	8	

2) 兼任教員 (非常勤教員) 担当授業数

科目種別	総コマ数 (年間)
両学科共通科目	14
情報処理学科専門科目	4
国際文化学科専門科目	9
計	27

2. 教育環境

(1) 校地面積等

- ・校地面積 77,714.71 m²
- ・建物面積 11,605.01 m²
- ・建物別・用途別面積（登記簿謄本上面積） (単位：m²)

	1号館	2号館	3号館	部室	守衛室	エネルギー棟	体育倉庫	プロパン庫	コモンホール	合計
階数	6	5	2	2	1	2	1	1	3	
床面積	3,962.07	4,222.80	1,220.00	297.82	28.94	181.30	38.03	7.50	1,646.55	11,605.01

【内訳】

講義室	1,338.00	1,198.47	-	-	-	-	-	-	-	2,536.47
演習室	-	652.40	394.17	-	-	-	-	-	-	1,046.57
実験室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
演習室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
研究室	349.86	245.70	-	-	-	-	-	-	-	595.56
管理関係その他	1,952.35	1,270.43	94.83	-	28.94	181.30	-	7.50	-	3,535.35
学生会館	226.24	-	731.00	-	-	-	-	-	-	957.24
課外活動施設	-	-	-	198.15	-	-	-	-	-	198.15
図書館	-	855.80	-	-	-	-	-	-	-	855.80
講堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体育施設	-	-	-	99.67	-	-	38.03	-	1,646.55	1,784.25
附属研究室	95.62	-	-	-	-	-	-	-	-	95.62
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 教室環境とその整備体制

号館	階	教室名	整備状況
1号館	3階	1302 教室	特に無し
		1303 教室	特に無し
		1304 教室	特に無し
		1305 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
		1306 教室	特に無し
		1307 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
	4階	1401 教室	特に無し
		1402 教室	特に無し
		1403 教室	特に無し
		1404 教室	特に無し
		1405 教室	特に無し
		1406 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有、書画カメラ有
	5階	視聴覚教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 テレビ (BS 放送受信可)
LL 教室		プロジェクター有	
2号館	1階	2102 教室	特に無し
	3階	コンピュータ実習室 1	コンピュータ 52 台、電子黒板システム プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 2	コンピュータ 32 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 3	コンピュータ 26 台 プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD, VHS, DV, HDD ビデオレコーダー有
		コンピュータ実習室 4	コンピュータ 21 台、電子黒板システム プロジェクター有、マイク・パソコン使用可
		コンピュータ実習室 5	コンピュータ 8 台 MIDI コントローラ、USB ミキサー、ボーカルマイク、 CDJ、DAW・総合音源、VOCALOID 初音ミク使用可
	4階	ゼミ室 2・3	移動マイクアンプ有
	5階	2501 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD 有
		2502 教室	プロジェクター有、マイク・パソコン使用可 DVD、VHS、MD 有 (別付けデッキ)

(3) 整備状況 (10 万円以上の工事・設備)

1) コモンホール外部階段補修工事

コモンホールは 1998 年に建築されましたが、2 階に上がる外壁にクラックが入り、ひび割れた状態なので、補修工事を行った。また、外壁と階段に苔が付き滑りやすいので薬液洗浄を施した。

2) 学生貸与パソコン購入

ネットワークのインフラ整備が進み、モバイルコンピューティングの時代と言われる現代社会において、IT 教育も変革の時を迎えている。そのような時代背景の中で、実社会においては未開封のパソコンを自ら設定する能力、インターネットを介しての情報分別能力、あるいは調査結果をまとめ上げモバイル機器との融合の中で動画や音声を自由に扱い、プレゼンテーション資料を構成する能力等が

求められている。

これらの能力育成には、旧来のように完全に設定済みのデスクトップパソコン中心の教育では困難であり、ノート PC を常備させ、日々の教育の中で常に活用させることが必要不可欠である。また、2011 年度カリキュラムより実践活動を中心としたプロジェクト学習（卒業研究）がスタートするが、この教育体制においても上記能力を育成するためには、ノート PC の活用は極めて重要である。以上から、2011 年度より新入生に貸与するノート PC を購入した。

3) テレビ会議システム導入

本学には、テレビ会議システムがなく、学園内でテレビ会議が開催される場合は熊本まで出張しているため、テレビ会議システムを導入した。

4) 各室ブラインド修繕

1・2号館及びコモンホール各室のブラインドが長年の使用により、上下に動かすことができない状況であり修理した。

5) 2号館前舗装改修工事及び排水工事

2号館前の舗装は一部表面が剥げ、雨天時には雨水が溜まるので、舗装改修とともに軟弱箇所の改良を行い、側溝及びマンホール・柵の高さ調整を施した。

6) グランドピアノ設置

本年度の本学の改革として、3号館2階ホールを在学生のために解放し、スチューデントユニオンと位置付け、全学生の課外活動、余暇などのイベントやアクティビティの提供、談話室などに利用できるような環境を整えた。このような状況においてグランドピアノの設置もその一つと考え、東海大学教養学部から移管した。

7) 図書館情報システムの更新

図書館の情報システムは、本学独自のシステムではなく、東海大学と同じシステム（製品名：iLis）で運用されており、東海大学のシステムのバージョンアップにともない、ハード面の構成を変更する必要があったので、コンピュータの更新を行った。東海大学と同時期の実施により、機器構成・ソフトウェア・値引料率は同条件となった。

8) 電話交換機更新工事

昭和 61 年に設置した電話交換機が、落雷による被害で機能不能となった。電話交換機は付属第五高等学校の内線も網羅しているので、完全復旧のため緊急工事を行った。内線電話は継続して使用できるが多機能電話は使用不可であり、これも併せて更新した。

9) 火災受信機更新工事

短大設置時に改修した火災受信機が、落雷による被害で機能不能となった。無警戒では危機管理上に問題があり、警戒体制を整えるため、基盤取替による復旧工事を行った。

10) 学内コンピュータ環境の整備

2011年度に72,300千円の予算において、コンピュータ環境のリース更新を実施する予定だったが、本学の切迫した財政状況を鑑み、現在のリース物件を再リースで対応し学内のインフラ整備と学務系システムの環境を整えることとなった。このため、1) 学内無線 LAN アクセスポイント、2) 事務（学務）用 PC 更新、3) プロジェクター更新（コンピュータ実習室1・2）、4) 3号館液晶テレビ導入、5) 電子黒板システム導入のほか、無線 LAN 保守やコンピュータ実習室3から3号館2階へPCの移設を行った。

11) 1307・2501 教室 AV システム更新

本学でプロジェクターが使用できる教室のうち、1307 及び 2501 教室は、2001 年度にプロジェクターを導入しているが、接続機器やコード類については、教卓の中に入れてあるだけで、多様な用途に

対応できない状況であり、AV ラックを設置し、ラック内において映像・音声・PC・LAN 切り替えが容易にできる様、システムとして導入した。なお、プロジェクターとスクリーンは、既存の機器を使用した。

12) 空調設備管理機器更新工事

短大設置時に改修した空調設備管理機器が、落雷による被害で機能不能となった。手動で空調本体の起動・停止を行わなければならないので、本体管理用のグループコントローラー及び電力を制御するデマンド装置更新工事を実施した。なお、配管を制御する中央監視盤については、本学の切迫した財政状況を鑑み、見送ることとした。

13) 2号館各所防水補修工事

2号館屋上の防水を施している部分の剥離及びコンクリートのクラック等により、5階の放送室、2502 教室等に雨水が漏水したので補修工事を行った。

14) 消防設備点検に伴う改善工事

消防設備総合点検を実施した結果、不備箇所が指摘された。主には、3号館とコモンホールの火災受信機基盤不良、消火ホース劣化、消火ホース耐圧試験の実施等であったので、危機管理上から安全を確保するためにも改善工事を行った。

15) 「ゼミ室1」の補修工事

ゼミ室1は、2012年度より「スポーツマネジメント実習室」として運用が始まるが、室内は柱のコンクリートの爆裂や壁が剥がれるなどの状況なので、補修工事を実施した。

3. メディア情報環境

(1) 図書館

1) 概要

図書館の概要は次のとおりである。

2011年度 図書館の概要

床面積	855.00m ²
書架棚総延長	2040m
収容能力	80,000冊
奉仕対象学生数	164人
座席数	120席
蔵書数	75,401冊
視聴覚資料	2,550点
予算	2,910,000円
開館時間(通常 月～金)	9:00～18:00
開館時間(通常 土)	9:00～16:00
開館日数	268日
入館者数	18,344人
一日平均入館者数	68人
学生貸出冊数	961冊
学生一人当たり貸出冊数	6冊
外部貸出冊数	82冊

図書・雑誌・視聴覚資料等の蔵書詳細は以下のとおりである。

和書・洋書総蔵書冊数

和書	洋書	合計
69,114 冊	6,025 冊	75,139 冊

2011 年度受入蔵書冊数

	和書	洋書	合計
購 入	485 冊	3 冊	488 冊
寄 贈	127 冊	4 冊	131 冊
視聴覚	0	0	0
合 計	612 冊	7 冊	619 冊

雑誌総所蔵数

和雑誌	洋雑誌	合計
454 種	57 種	511 種

2011 年度受入雑誌種数

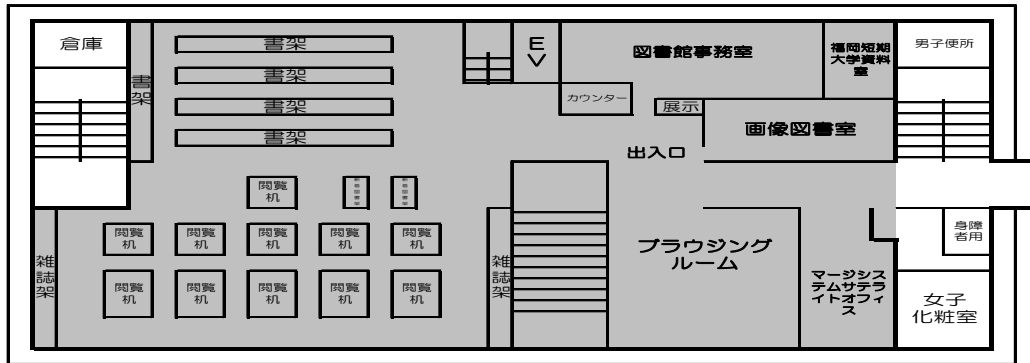
和雑誌	洋雑誌	合計
224 種	12 種	236 種

視聴覚資料総数

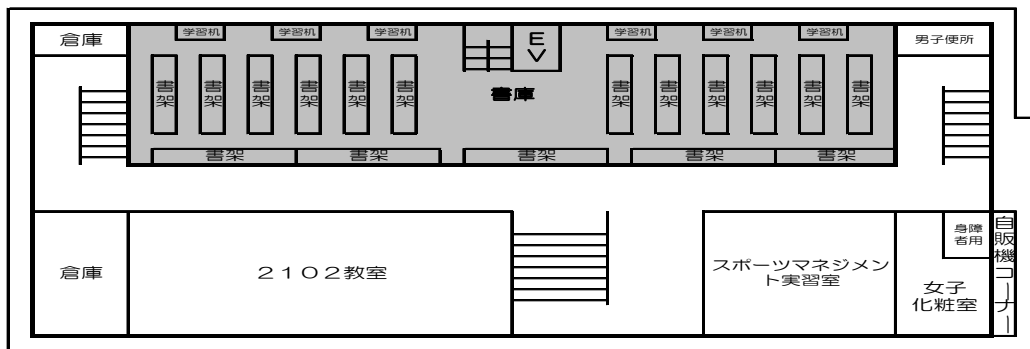
ビデオ	LD	DVD	CD	カセット
1,326	183	348	565	128

また、全体配置図は以下の通りである。

フロアガイド



2号館2階



2号館1階

(機器設備の配置状況)

本学では、図書館が2号館の1階と2階に配置されている。館内には書庫と閲覧室以外に画像図書室、ブラウジングルームを備えている。その概要は上記表に示したとおりであるが、その他にAV機器12セット、コピー機1台がある。パソコンは、事務用として3台、利用者の図書検索用として1台配置しており、いずれもLANに接続している。また今年度は学生へのノートPC配布開始にあわせ、館内に無線LANアクセス環境を先行整備した。

画像図書室には、ビデオ、DVD、CD等が視聴可能な機器を12セット備えており、各種語学・資格試験講座・視聴覚教材の他に、各種の音楽や映画等のVHS・DVD・CD等を視聴することができ、利用者も比較的多い。閲覧にはヘッドホンを使用させ、かつ図書閲覧室とは分離させてあるため、騒音等の問題は発生しない。

新着図書に関しては、2階閲覧機のそばに専用の書架を設置しており、古くなったものから随時1階書庫に移動している。また、書架配架の乱れは利用効率が低下する点を含み整備点検を重要視している。

(図書館システムと情報化)

本学単独のシステムとしては稼働しておらず、東海大学が運用する図書館情報システム(iLiswave:TIME)を、東海大学中央図書館とインターネットVPN接続することによって利用している。なお、蔵書検索にはOPACを用いている。東海大学附属図書館所蔵書誌データベースと国立情報センター目録情報システムをベースとした遡及入力作業も順調に推進しており、今年度までに38,875(51.5%)完了している。また、図書館ホームページを公開しており、開館情報や図書検索が行えるようにしている。

(図書の購入・廃棄)

2011年度の図書予算は2,910,000円であり、内、図書費・図書資料費は2,420,000円である。図書の購入は、教職員からの希望、学生の希望を優先し、館員がウィークリー出版情報等図書カタログからも選定している。これらの選定図書については、本学の教育及び研究活動に対する有用性について十分に留意し、また学生の希望も勘案の上、ラーニングリソースラボ室長の承認を得て購入している。また、資格関連の図書については、毎年内容が更新されることから、関係教員から選定してもらった資格図書について定期購入を行っている。

廃棄図書については、以下に示す固定資産とした資料に関して、除籍資料明細書を作成し、ラーニングリソースラボ室長より所定の手続きを経て、学長の決裁の上、除籍する。

- (1) 紛失資料で所在不明となって3年を経過したもの
- (2) 破損・汚損・摩擦等が甚だしく補修不能なもの
- (3) 資料価値を失ったもの
- (4) その他ラーニングリソースラボ室長が除籍を適当と認めたもの

除籍・抹消した資料については、所定の手続きにより破棄する。

(図書館の運営)

図書館の運営にあたっては、メディア情報センター運営会議で審議検討される。現在、ラーニングリソースラボ室長(教員)、常勤職員1名はメディア情報センター管理企画室の事務も兼務しており、多面的な業務と図書館業務を並行しているため、学生スタッフ10名と共に図書館の運営に欠かせない状況である。

(学生の利用促進への取組み)

4月に全学生に配布するキャンパスガイド内に、図書館利用ガイドを記載しており、入学時オリエンテーションあるいは全体ガイダンスで利用方法等の概要を案内し、ゼミ別、個人・グループ別の「図書館ツアー」、「文献検索ツアー」「レポート作成ツアー」参加を積極的に促している。また、ブラウジングルームや図書館資料リクエスト、利用者の要望を聴く「投書箱」を設置し、学生が利用しやすい環境を整えている。

(他大学、地域との連携)

本学は、国立情報学研究所(NACSIS)に参画しており、他大学との図書館相互貸借を行っている。ま

た、「福岡県・佐賀県大学図書館協議会」、「西日本図書館学会」のメンバーとして、近隣大学とも積極的な取組みを行っている。

地域との連携では、本学の所在する宗像市における「むなかた大学のまち協議会」に参画しており、市民図書館、同市内の福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学との間で図書館相互貸借を実施している。その他、一般市民に対しても図書館を開放しており、図書の貸出サービスを実施している。

2009年度の相互貸借状況は以下のとおりである。

他図書館との相互協力状況

相互貸借件数		文献複写件数	
本館からの貸出冊数	他館からの借受冊数	他館からの受付件数	他館への依頼件数
8	8	0	0

(学生の利用状況)

学生の利用頻度は、2011年度総入館者数 18,344 人、画像図書室利用総数 333 人、貸出冊総数 1,135 冊となっている。学生の閲覧頻度が高い図書については複数冊購入しているが、これらの図書の閲覧時期が集中するため、希望図書を閲覧できないこともある。また、図書閲覧室の利用時期についても、検定試験前あるいは定期試験時期に集中する傾向があり、これらの時期は閲覧席が満席に近い状態となることがある。それ以外の時期は、1割程度の利用であり、夏期・春期休暇中の利用者は非常に少ない。

画像図書室の利用状況は、授業実施時期で1日平均14人程度の利用であり、現時点で座席数等の問題は無い。ブラウジングルームについては、利用頻度が極めて高く、時間帯によっては席が無いこともある。

2) 現状の問題点と改善に向けての取組み

学生による図書館利用の状況は、飲食も可能で休憩・談話のスペースとして活用されているブラウジングルームを除き、極めて低調であると言わざるを得ない。学期末・定期試験前の利用においても、学生数の減少だけでは説明がつかない程の利用減少傾向が見える。

これは、インターネットの日用品化をはじめ、スマートフォンやタブレットに代表されるスマートデバイスの普及、ノートPCの配布や学内無線LAN環境の整備等により、学習場所の自由度が向上するなど、学生の学習スタイルそのものに大きな変化が生じていることが背景にあると考えている。

しかしながら、いかに時代が変わろうとも、学習・教育・研究活動のための多様な文献・資料の揃う図書館の本質的な価値が減じているわけではない。静謐な学習環境と豊富な図書・図書資料の整備という伝統的な図書館の姿を維持しながら、プラスアルファの発想のもと、デジタル教材や電子書籍の導入、個人学習・グループ学習スペースの構築、授業担当教員との連携などを推し進め、本学図書館ならではの魅力を学生に提示していくことが肝要である。

なお、2011年度まではメディア情報センター・ラーニングリソースラボが図書館やeラーニングを含む教育教材を統合的に取り扱っていたが、来年度(2012年度)、メディア情報センターを発展的に解消し、図書館は組織上において独立の部署として運営を行うことになった。これをひとつの契機として、上述のような改革を機動的に推し進めていきたいと考えている。

(2) コンピュータ実習室

1) 概要

2006年度に行った基幹スイッチ・サーバ、クライアントの更新に伴い、実運用と照らし合わせたシステムの改善を進めつつ、安定稼働に努めた。また、文部科学省の現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム(現代GP)の採択(2005~2006年度)により導入されたサーバ、コンテンツについても引き続き運用を行い、教育効果を高めた。

2) 業務内容

a. コンピュータ実習室管理

新システムの教育環境の改善と安定稼働を目指し、情報システム室の担当職員を中心に委託業者を加え作業を行った。セキュリティ対策として導入したログ収集ソフトウェア、Web カメラ等を運用し、一定の効果を上げた。

b. コンピュータ実習室運営

コンピュータ実習室は午前9時から午後7時まで開館している。午後5時以降の業務は主に学生スタッフ（学生アルバイト）で対応した。

5つあるコンピュータ実習室は授業優先で利用され、その他空き時間は学生が自由に利用できる。この間の利用サポートは情報システム室職員により行われる。特に、MS-Officeをはじめ学生たちのレポート作成にかかわるサポート、プリンター出力時のトラブルに関するサポートを中心に行われた。情報システム室職員には、パソコン利用に関する幅広い知識が要求された。

c. Web ページ管理

下記に挙げる各 Web ページの維持管理を行った。

- 学外向けかわら版 Web ページ(<http://cms.ftokai-u.ac.jp/>)
- 学生ポータル Web ページ(<http://home.ftokai-u.ac.jp/>)
- 業務ポータル Web ページ (<http://info.ftokai-u.ac.jp/info/>)
- ケータイ向け Web ページ(<http://m.ftokai-u.ac.jp/i/>)

学生ポータル Web ページには、授業情報、休講情報、就職情報、編入情報など、学生たちが学生生活に必要な情報が掲載されている。

d. 維持管理

情報システム室のホスト室には MS-Windows 系サーバが 8 台（ドメインコントローラ、ファイルサーバ、データベースサーバなど）、UNIX 系サーバが 16 台（Web サーバ、データベースサーバ、キャッシングプロキシサーバ、メールサーバ、Web コンテンツサーバ、NTP サーバなど）設置されており、これらのマシンが本学の ICT 化の根底を支えている。これらサーバマシンを 24 時間体制で監視・維持していく必要がある。

e. 他部署 ICT 化補助

ICT 化が進む学内部署において、システム側の作業は順調に進んでいるが、利用率の伸びは鈍い状況である。利用者がこれらを有効利用するためには、システムの操作方法などの把握が不可欠である。このため、利用者に対し必要な補助を行った。

f. 各種情報のオンライン化

学生カルテ、出張上申、学事伝票、業務日報の電子化・データベース化を継続して行った。

g. 福岡キャンパス各組織（付属第五高校、付属自由ヶ丘幼稚園）の支援活動

同一キャンパス内に設置されている付属第五高等学校、付属自由ヶ丘幼稚園の ICT 環境のサポートを行っている。両組織とも ICT に関する専門職員が不在であり、短大情報システム室の技術職員が技術支援・運用支援を行っている。また、一部の業務については福岡短大のシステムを利用している。

3) ネットワーク構成

a. 学内 LAN

基幹 LAN は 20Gbps で運用している。また、各教室、研究室へも最大 1Gbps の LAN を提供している。

b. 無線 LAN

2011 年度入学に無償貸与しているノート型 PC の活用促進を図るため、コンピュータ実習室の机上に

に電源コンセントの設置、2号館 3F(コンピュータ実習室)、2号館 5F(2501, 2502 教室)に学生ノート PC を収容する無線 LAN のアクセスポイントの設置を行った。

また、2012 年 3 月に無線 LAN のサービスエリアを全学に拡大する拡張工事を行った。

c. 対外接続

本学の対外接続は SINET 100Mbps, SuperOCN 1.5Mbps, BBIQ 100Mbps で行っている。SINET は媒体として NTT B フレッツを利用し安価に高速回線を確保できている。主にメールの送受信、学外から学内情報へのアクセスに利用している。SuperOCN 1.5Mbps の回線帯域はさほど広くないものの、OCN バックボーンに直結している高品質回線であり、遅延が非常に少なく、また高信頼性を誇る。このため、本学のメイン Web サーバや、学内実習用 UNIX サーバへの学外からのアクセスに利用している。BBIQ100Mbps はグローバル IP を ISP から DHCP によって割り当てられる回線であり、学内情報を学外に提供する回線としては利用が難しい。よってこの回線は学内端末から学外への Web アクセスに利用している。